

## イヌガヤワタカイガラムシ

イチイ、イヌガヤなど各種樹木の葉裏に白い綿やうす茶色の楕円形のものがつく。白い綿は卵のかたまりで、最大長約1cm。黄色の楕円形のは幼虫や成虫で、最大長約5mm。

実害はほとんどないが、多発すると煤病を併発し、美観を損なう。



1. 雌成虫と卵のう。1999/6/12. 美唄市，庭のイチイ。

【学名】 *Pulvinaria torreyae*

【分類】 カメムシ目 (Hemiptera) , カタカイガラムシ科 (Coccidae)

【分布】 本州, 四国.

北海道では少なくとも1973年には発生が報告されているが、図鑑などでは分布域に北海道が含まれていない。

### 【生態】

宿主：イチイ，カヤ，イヌガヤ，マサキ，チャ，ヤブコウジ，マンリョウ。

北海道ではイチイ以外の樹種では被害記録はないようである。

発生は年1回。札幌辺りでは成虫が6月に出現する。葉裏に白い綿の中に卵をかためて産む。卵は7月中下旬に孵化する。幼虫で越冬する。翌春，再び吸汁加害し，成虫になる。

### 【被害と防除】

まれながらイチイに多発する。被害による樹勢の低下や枯死は記録されていない。

気になるときは，白い綿状の卵のかたまりを取り除いて駆除する。

### 【文献】

1974. 山口博昭，小泉力. 昭和48年度に発生した森林害虫. 北方林業，26：97-99. (最も古い北海道での発生記録?)

1977. 奥野孝夫，田中寛，木村裕. 原色樹木病害虫図鑑. 保育社，大阪. (形態，生態，防除の解説)

1980. 河合省三. 日本原色カイガラムシ図鑑. 全国農村教育協会，東京. (分類，形態，寄主の解説)

1996. 尾崎研一. イチイに新たな害虫イチイカタカイガラムシ. 森林保護, 256 : 41-43. (生態の報告, 他のイチイのカイガラムシについても解説)

北海道立林業試験場・緑化樹センター

イヌガヤワタカイガラムシ kaigara/inugaya/  
kaisetu.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/1/27.

musi.JPG

「写真1」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 1999.